

コミュニティ静岡

あなたのまちの
コミュニティ活動情報誌

2015

1月

No.137



ソバの脱穀は、大正生まれの脱穀機で！

昨年は400キロのサツマイモを収穫しました



大好きな地元をほっくりかえす

奈良本・ほっくり隊 (東伊豆町)

▼奈良本・ほっくり隊は、自分の住んでいる奈良本が大好きで、楽しいことを見つけない！という仲間が集まり、地元の良いところをぼちぼちと「ほっくり返す(掘りかえす)」活動を目指しており、それが名前の由来にもなっている。

▼平成22年、何か楽しいことを始めようと知り合いを通じて呼び掛けたところ賛同した仲間が集まり、奈良本地区内にある休耕田を利用し、主にサツマイモとソバの栽培を始め、イモ掘り大会やそば打ち体験を開催し楽しんでいる。また、会員のつながりから、町のウォーキングイベントでイモ掘り体験の機

会を提供したり、熱川温泉のクリスマスイベントにそばがきや芋だんごの店を出し大好評を得るなど地域活性化への協力も惜しまない。

▼現在、会員18人、40代から70代と幅広い。「このまま、ぼちぼち続けて老後も楽しむぞ〜」と和気あいあいの雰囲気溢れる。今後は、古道の調査や大樹への標識付けなど活動の幅を広げたい。興味を持たれた方、個人でも家族でも老若男女誰でも大歓迎です。是非一度活動に参加してみませんか？

◇代表：加藤眞理さん (問合せ・☎0557-23-1667)

【情報提供・鈴木邦夫】

Contents No.137

各地の活動	●東伊豆町	1
活動賞審査結果	●平成26年度「コミュニティ活動賞」審査結果紹介	2~3
各地の活動	●西伊豆町・熱海市・裾野市・掛川市・浜松市	4~5
地域訪問記	●まちと山村の交流拠点、笑顔のわらびこ(静岡市)	6
	●見聞を広めながら仲間とともに健康維持(磐田市)	7
コミ推協から	●コミュニティ・フォーラム2015のお知らせ、他	8



平成26年度「コミュニティ活動賞」

静岡県コミュニティづくり推進協議会主催の本年度「コミュニティ活動賞」は、ここで紹介する優秀賞5団体ほか、別表のとおりとなった。

安全、明るく、住みよいまちづくりの展開 門池地区コミュニティ推進委員会 (沼津市)



門池まつりの賑わい

東名沼津ICの南側に位置する、比較的新しい自治会組織であり、平成19年に当地区で国際大会である技能五輪を地域一体となって「おもてなし」し、成功させた輝かしい実績がある。この地域の力を結集した成功体験が、コミュニティ活動を展開していく気運を高めた。

地域の活性化、防犯・防災、青少年育成、環境美化、子育て支援、福祉と、実に多くの分野の活動を展開している。住民がこうした諸行事に参加するたびに、子どもたちも父母も顔見知りの輪が広がり、郷土愛が芽生えてくるなど、住民のコミュニティ意識が広く醸成されている。

やきそばでまちおこし

富士宮やきそば学会 (富士宮市)

平成11年、富士宮市主催の「中心市街地活性化のためのワークショップ」参加者が、富士宮市には路地裏等に地域の人達のたまり場的な焼きそば店が多いことに着目し、「焼きそばでまちおこし」をしようと「富士宮やきそば学会」が平成12年に誕生。学会発足後、富士宮やきそばを食べに訪れる観光客が増加するなど、平成13年から9年間の経済波及効果は439億円と推計している。ご当地グルメをきっかけに地域ブランド確立に成功した「富士宮やきそば学会」は、各地のまちづくりにも大きな影響を与えるなど、大きな成果をあげている。



やきそばアカデミーでの実技試験

優秀賞		優良賞	
門池地区コミュニティ推進委員会	沼津市	金岡コミュニティ推進委員会	沼津市
富士宮やきそば学会	富士宮市	金岡地区有識者会議	沼津市
マークス・ザ・タワー 藤枝	藤枝市	和田1倶楽部	富士市
御前崎エコクラブ	御前崎市	清水郷土史研究会	静岡市
中野町を考える会	浜松市	大川地域振興協議会	静岡市
		日立清水理科クラブ	静岡市
		特定非営利活動法人 浜の会	焼津市
		吉岡自主防災会	掛川市
奨励賞			
小諏訪喜楽会	沼津市		
公文名5区 四季の会	裾野市		
富士鷹勇會	富士市		
本市場スポーツ同好会	富士市		
特定非営利活動法人 マンパワーカフェ	静岡市		
藤枝ネイチュア・フィーリングの会	藤枝市		
みみずくクラブ			
堀之内花を育てる会	藤枝市		
金谷コミュニティ委員会	島田市		
川根さわやか有志会	島田市		
よみきかせ会「ひまわり」	掛川市		
ひらかわ劇団	菊川市		

この指とまれ!日本一のマンションコミュニティの創出 マークス・ザ・タワー藤枝(藤枝市)



ぼく・わたし・パパ・ママ交流会

「マークス・ザ・タワー藤枝」は、新築マンション入居者で構成された、発足間もない町内会だが、ドア一つで隔離してしまうマンションのコミュニティづくりの必要性を感じていた町内会理事長の強い思いがきっかけで、活動が始まった。

全員が新規加入者という中で構成された町内会が、マンション内だけに留まらず、近隣町内会との交流イベントにも積極的に参加したり、地域で生き生きと暮らせるよう多彩な活動を展開する中で、コミュニティづくりの醸成、浸透に大きく貢献し、同市で増えつつある「マンション型町内会」のモデル的活動となっている。

環境体験学習と手づくり公園日本一を目指して 御前崎エコクラブ(御前崎市)



エコクラブ手づくり公園の入口

平成10年、御前崎の環境問題を考える会として「御前崎エコクラブ」が発足した。町内探索によって町の素晴らしさを改めて知る中で、県管理の緑地公園が、満足な手入れがされず鬱蒼とした状態であることを発見し、この場所を地域の環境問題を解決する拠点にしようと、公園の管理者である静岡県御前崎港管理事務所との協働により公園再生に取り掛かった。

その後も草取りや倒木の処理、花壇の植え替えなど、年間平均300日以上もの奉仕作業に従事し、そのため常に明るく綺麗な公園が維持され、地元市民だけでなく、観光で御前崎を訪れる人々の憩いの場となっている。

なかなかやるねえ中野町

中野町を考える会(浜松市東区)

浜松市東区中野町は明治から昭和初期にかけては製材業などで大変栄えていたが、時代の移り変わりとともに賑わった町の姿は失われていった。そこで、有志が集まり平成17年「中野町を考える会」が発足。当時、国道1号・天竜川橋の拡幅工事が計画され、このコミュニティ分断の危機を町の基盤整備のチャンスと捉え、ワークショップなどを通じて地域の要望をまとめ、関係機関に提出。その結果、国道1号線の沿道等に「なかのまち夢いっばい広場」「中ノ町フラワーロード(花壇)」などが整備され、地域愛にあふれたバラエティ豊かな活動を展開し、魅力あるまちづくりを実現している。



明善扇のまち歩きイベント

審査総評

(川口良子審査委員長)

本年度は12市町から23団体の応募がありました。長く地道な活動を継続し成果をあげている団体や、活動期間は短いものの現代的な様々な地域課題をテーマとした先進性ある団体等、多彩さが特徴といえます。

結果は前頁のとおり、優秀賞5団体、優良賞7団体、奨励賞11団体となりました。審査方法は、あらかじめ各委員が応募資料をもとに、地域性・主体性・普遍性・発展性・独創性の審査基準による事前評価を行い、審査会でその評価を審議し、各賞を決定いたしました。

優秀賞の5団体は、応募内容の多彩さを反映する結果となり、「富士宮やきそば学会」については、「コミュニティとの関係について確認する議論が交わされたことを申し添えます。

優良賞、奨励賞の中にも、優秀賞と同等に評価する審査員がいた団体もあり、どの団体の活動もレベルが高く、審査員一同、多様化するコミュニティ活動に優劣をつけることの難しさを実感した審査となりました。いずれの団体も、この賞をひとつの励みに、今後の活動展開に活かしていただきたく思います。

また、本年の応募団体以外の団体も、ぜひこれらの活動を、今後の参考にさせていただき、次年度、積極的に応募していただければ幸いです。

まちから・むらから

●西伊豆町



最高齢参加者は86歳！

グラウンドゴルフで生活に張り

宮ヶ原GGクラブ

▼自然景観に恵まれ、水平線に沈む美しい夕陽のまち西伊豆町。海辺から14kmにある大沢里地区宮ヶ原は、25世帯55人で高齢者が大部分の山村地区である。年々若者は流出し独居世帯が多くなり、高齢者が畑で作物を作り草取りをする姿が日常の風景。

そんな生活の中、代表者の久保田さんが、畑の草取りだけでなくグラウンドゴルフで健康づくりをするとともに住民同士がふれあう機会を作ろうと宮ヶ原GG

クラブを始めた。当初は週1回だったが、今では週3回に加え第2、4日曜日と月1回の大会を開催しており、宮ヶ原はグラウンドゴルフが熱い地域だ。

高齢者の皆が集まっておしゃべりし、グラウンドゴルフをすることは、頭を使い、体を動かし、何よりも一番の介護予防になっている。

▼皆で楽しむ娯楽により地域がまとまり、生活に張りを与え、足腰痛の人も痛みを忘れ参加したくなるほどの元気をいただいている。久保田さんのアイデアと引っ張って行く力に頭が下がる。

大会終了後のバーベキューでは、自慢の手作り料理を持ち寄って皆でいただくことも楽しみのひとつだ。

◇代表：久保田長美さん（問合せ・☎0558-58-7246）

【情報提供・鈴木深雪】

●熱海市

わが町を調べ次世代へ伝承

水口町明生会

▼昨年の11月1日、熱海市水口町の老人会「明生会」の50周年記念式典が盛大に開催された。また、50周年という節目に、多くの住民に町内に感心をもってもらうと名所・施設見学会を実施するため「歴史あるわがまち、水口をもっと知ろう」実行委員会を立ち上げた。年長者の知識経験を生かして、1ヶ月近くかけてまちを調査し、現地などで集めた資料を基に、見学用冊子を作成した。

▼8月24日、22人で見学会を実施。マンションの住人や現役世代の参加があった。出発に先立ち町内会館で概要説明した後2時間をかけて14ヵ所を見学。主な施設では専属ガイドが説明。坪内先生の居宅「双柿舎」では、先生作詞の熱海市歌を全員で合唱した。

▼「長いこと住んでいるけど知らなかった」「次は一人

で巡ってみよう」など大好評。住民同士の関係が希薄になっている現在、これからも町内の歴史を知ることで町内に感心を持ってもらい、歴史文化を次の世代へ引き継いでいって欲しいと願い、この事業を観光地熱海に少しでも広げていければと考え活動していく。



双柿舎にて熱海市歌の合唱

◇代表：菅沼敏男さん（問合せ・☎0557-81-8860）

●裾野市



子連れも高齢者も一緒に

バリアフリー上映で地域につながるの輪を 市民グループ「つながる映画」

▼裾野市の市民グループ「つながる映画」は、いろいろな人がいてこそ豊かなコミュニティだという思いのもと、バリアフリーで鑑賞できる映画を上映することを通じて世代や立場、障がいの有無を越え、どんな人も安心し、分け隔てることなく暮らせるコミュニティの実現を目指し活動している。

▼約半年の準備期間を経て昨年3月に実現した映画「うまれる」のバリアフリー上映では、小さいお子さんの

いる家庭や障がいを持つ人も一緒に楽しんでもらいたいと副音声や要約筆記、磁気誘導ループ設置（補聴援助）、お子さんOKタイムを実施。380席分のチケットは完売し、遠くは伊豆から来た方も。

▼この試みによって、裾野市市民活動センターを拠点に活動している団体や裾野高校ボランティア、市外の活動団体などが連携することができ、個々に活動している団体同士の横のつながりが「生まれる」良いきっかけになった。上映会は、裾野市のパートナーシップ事業補助金を得て実施している。現在、3月22日の「世界の果ての通学路」上映に向けて活動中。

◇代表：神井祐子さん（問合せ・鈴木さん☎070-6564-5811）

【情報提供・志田瑞代】

各地の活動

各地の活動情報



●掛川市



一番人気のリズム体操

元気な中高年“粗忽者”

▼毎月、掛川市と菊川市の老人ホームや子育て支援施設に“そこつ屋玉手箱”が出張慰問団として訪れている。この団体は、NPO法人掛川シニア交流研究会が主催する出会い塾第2期生の集まりで、市内の介護施設、子育て支援施設、老人会や子供会などを訪問し、見てもらうことより一緒に参加・交流し、楽しいひと時を過ごしてもらうことを目的として結成された。現在、男性5人、女性5人、計10人。

▼各施設での出し物は、三味線、笛、太鼓の伴奏によ

る踊り、手品、朗読劇、ハーモニカによる皆さんとの合唱などで、会員それぞれの特技を生かした内容となっている。お互いに教え合い、芸の幅を広げることも怠らない。

▼「そこつ屋玉手箱」の名前は、元気な中高年粗忽者の集まりで、何がとび出すかわからないことから浮かんだ名前である。

会員には、地域の役員や仕事を持った人もおり10人揃っての活動は難しい。発足から4年、今後はもう少し幅の広い演出を考えている。一緒に楽しむ仲間を募集中です！

◇代表：鈴木静江さん（問合せ・☎0537-26-0716）

【情報提供・山崎智行】

●浜松市

出前サロン始めました

▼浜松市白脇地区社協の事業である高齢者向けサロンが、白脇協働センターで開催されている。しかし「協働センターまで遠い」「近くの公民館なら歩いていけるのに！」という声も多くあった。そこでサロンが出張（出前）すればいいじゃないか！「せっかく町内に公民館があっても役員になった時しか行かなかった」「もっと有効に活用しないともったいない」などの声にも応えられる！と奮起して、昨年7月から出前サロンを実施した。

▼サロンメニューは5つ。①健康講座、②手作りMONO体験、③コミュニティキッチン、④学習講座、⑤ブレイクタイム 高齢者の集中力も考えて、1単位30～60分、組み合わせは自由。講師は身近な地域の人や包括支援センターに依頼している。前回行った白羽

町シニアクラブでは、定例会の中に組み込む形で民間企業の方を講師に迎え終活講座を開催した。現在2月に行う瓜内町のメニューを思案中である。

▼始まったばかりだが、いずれは各自治会で自動的に開催できるようになればと考えている。地域住民が主役となるまちづくりを目指し、人や世代をつなぐことのお手伝いをさせていただきたい。

◇代表：瀬尾弘之さん（問合せ・☎053-545-3271）

【情報提供・神谷千賀子】

白脇地区社会福祉協議会



健康講座の様子

地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます（アドレス <http://www.sizcom.jp>）

No	市 町	活 動 名	主 催 者	月 日	場 所
1	御殿場市	街に賑わいと活気を！	御殿場おかみさん会	月1回	御殿場駅周辺広場
2	富士市	地域を知る。愛着を持つ。 (小木の里文化祭にて)	富士駅南コミュニティ推進会	平成26年10月25、26日	富士市駅南まちづくりセンター 富士市立第二小学校体育館
3	藤枝市	健康長寿の地域づくりを“ふまネット”と 障がい者交流で！	サロンあらだん	月2回	藤枝市新南新屋会館
4		ユニークな手作り行事で活気あふれる サロン活動	弥生いきいきサロン	月2回	藤枝市弥左衛門公会堂
5	掛川市	親しみの図書室に！と飾り付け	わたぼうし	通年	千浜農村環境改善センター

地域訪問記

まちと山村の交流拠点、笑顔のわらびこ

藁科都市山村交流センター（静岡市）

静岡駅を北へ12kmほど、藁科川沿いに藁科都市山村交流センター「わらびこ」がある。ここ中藁科は、澄み切った空気と四季折々の景色に触れることができる。

「わらびこ」は、静岡市から藁科都市山村交流センター運営委員会（中藁科自治会連合会）に管理運営が委託されている。センター長の杉山さん他、職員7人は地元の住民である。わらびこは、平成16年に開館しているが、施設の計画段階から「のんびりとくつろぎながら語り合える場所がほしい。」という住民の意見が取り入れられており、誰でも利用できるお風呂とカラオケのできる交流室や会議室を備えて完成した。この意見が後にわらびこの魅力につながっていく。

まちと山村の交流拠点



自然食づくり講座：朴葉餅をつくりました

利用者は、地元3割、市内外7割で常連客が多い。農作業の合間や、さらに奥にある病院の往復に立ち寄る。館内は気持ちよく清掃が行き届き、居心地の良さにほっとひと息ついていく。近頃は、新東名の開通にともない、県外ナンバーのお客さんも立ち寄る。職員は、来館者に明るくあいさつをすることで、気軽に話せる雰囲気づくりを心がけている。館内には、オクシズ（奥静岡の愛称）の見どころが写真で紹介されており、「こんな季節のこの場所がおすすめ」と職員が案内してくれる。杉山さんにお話を伺っていると、来館者から「じゃあ帰るよ。またね。」と声が掛かった。ニコニコと対応する職員さんたちがいる。わらびこでは、交流講座や春秋のわらびこまつりを開催している。人気交流講座の一つ「ミニ門松づくり」では、高さ50cmほどの生花風の門松を手作りする。講師は地元の農家の方で、この講座のためにロウバイを育て、竹を切り出し、縄を編むなど1年を通して準備をしている。12月の自然



しめなわづくり講座は、幅広い年齢層で賑わいます。

食づくりは、今ではめずらしい臼と杵を使って餅をつき、つきたての辛味餅や大福などが味わえる。まさに、家族や親せきの集まる田舎の年末の風景だ。ほかにも、そばや味噌、金山寺づくり体験がある。館外では、週に5日ほど近隣の農家のグループが朝採り野菜の販売をしている。春秋のわらびこ祭りは、1,000人ほどの来館者でにぎわう。

人々の求める「居場所」「癒し」を実現

「わらびこ」は、中藁科の地域をまとめる拠点であり、外からの人が立ち寄ることで交流が生まれている。わらびこを通して温かなオクシズの住人の人となりを発信している。「のんびりとくつろぎながら語り合える場所がほしい。」とは、地元の人だけでなく、全ての人の願いなのかもしれない。高齢化社会、無縁社会と叫ばれているが、制度にとらわれた集まりや施設でなく、緩やかに人が交流できるこのような施設をみんな望んでいるのだと思う。

取材後、バスで帰宅する高齢の利用者の方に尋ねると、「よく利用しています。本を読みに来ています。職員の方が優しいですから」と笑顔で答えてくれた。さりげない会話にも気持ちがほっと温くなる。

◇代表：杉山 満さん（問合せ・☎054-270-1501）

【情報通信員：酒巻みち子】

レポート：萩原佐枝子編集委員

地域訪問記

見聞を広めながら仲間とともに健康維持

～あなたも一緒に歩きませんか？～

おおふじ健歩会（磐田市）

磐田駅から北へ車で約15分のところにある大藤公民館、ここを拠点に大藤地区有志が立ち上げた“おおふじ健歩会”がある。「地域の仲間と一緒に歩いて見聞を広め、親睦を深め、健康を維持すること」が目的だ。平成15年に発足し口コミで会員を募り、現在会員数は69人。50歳台後半から最高齢84歳（平均年齢は概ね70歳）で構成され、うち男性は36人と半数以上を占める。

鮫島初代会長、鈴木元会長、越智現会長など5人の方々にお話を伺った。皆さんとにかく元気が良い。声は大きいし、肌の色艶も良い。これが歩くことの効用かと今更ながら感じさせられる。

会の運営

会は会長と8人の世話人で切り盛りする。会費は一戸当たり年1,000円。夫婦で会員になっている例も多い。会費は、コピー代や、行き先の下見などに使われ、参加費用は別途必要になる。年間のスケジュールは特になく、春、秋は貸切バスを使って遠出をすることと、月ごとの担当世話人ぐらいを決めておく。

どこ行こう？

行き先は担当世話人が決める。県内外を問わず日帰りできて歩く場所があればどこでも良い。遠くは三重県伊勢路から熊野古道を歩いたことがあるという。世話人は行き先を選定し、下見をしたうえで会員に招待状を出す。招待状には行き先と集合日時などが記載されているが、返事は不要。自分が参加したければ集合場所に行けばよい。原則公共交通機関を使うので遅刻すればおいて行かれるだけだ。それでも毎回10～15人ぐらいの

参加がある。

ただし、春と秋の貸切バスを使うときには30～40人を集める。



時には観光タイム！無人販売に足を止める

安全面での配慮

10年以上歩いてきたが、大きなトラブルもなくやってこれた。以前途中で体調を崩した人がいたので、年齢構成なども考慮し、真夏（7、8月）と真冬（1、2月）の活動はやめた。歩く距離も6～10kmに設定している。世話人が苦勞するのは、ウォーキング中も含め迷子になることだ。電車などの乗り換えで遠くのホームに移動するときなど、全員乗り換えられたかどうか心配になるという。そのためバスガイドが持つような小旗を作り先頭と最後尾の人がこれを掲げている。

また、会員には黄色のバンダナが配られており、リュックに付けたり、頭に巻いたりして目印にしている。

これからも歩き続けよう！

この会が長く続いている理由を尋ねると、「強制しないのがいいんじゃない」と返ってきた。先にも触れたように無理に誘わず、自分が行きたい時だけ参加できることが魅力のようだ。そうは言いながらも会員の皆さんは歩くことがお好きなようで、日々自宅付近などを歩いてトレーニングされているらしい。これからも元気に歩き続けてください。

◇代表：越智弘紀さん

（問合せ・大藤公民館 0538-38-0371）

【情報通信員：森岡たか子】

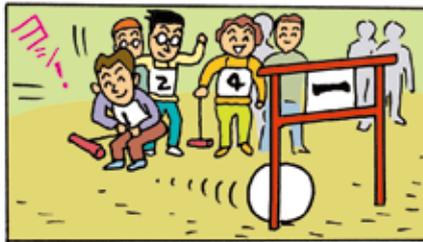
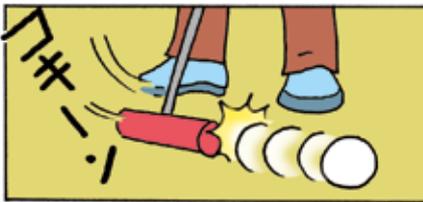


観光よりも健康維持の目的で、歩く、歩く



レポート：三戸部 孝編集委員

コミカレ家



コミュニティ・フォーラム2015を開催!

つむ 地域で紡ぐセーフティネット

平成27年2月14日(土) 午前10時30分～午後3時
 プラサ ヴェルデ・コンベンションホールB (沼津市大手町1-1-4)

午前の部

◇表彰式 「コミュニティ活動賞」

◇基調講演

「雨の向こうはいつも晴れ」

講師 夜回り先生 水谷 修氏



午後の部

◇アトラクション

加藤学園高等学校チアリーダー部「SHINE☆STARS」

◇パネルディスカッション

～ 地域で紡ぐセーフティネット～

●パネリスト

神谷 尚世氏【NPO 法人ポレポレ代表理事】

藤下 品子氏【NPO 法人泉の会理事長】

牧田まり江氏【沼津市女性消防団紫明隊長】

皆川 行寛氏【NPO 法人臨床心理オフィス Be サポート代表】

●コーディネーター

伊藤 光造氏【NPO 法人くらしまち継承機構理事長】

※参加には入場整理券が必要です。

※昼食を希望される方は、700円で斡旋いたします。

問い合わせ、お申し込みは

静岡県コミュニティづくり推進協議会へ

電話 054-251-3585/FAX 054-250-8681

コミ 推 協 会



平成26年度コミカレ修了者アフター研修会

コミ・ねっと設立30周年記念フォーラムを開催しました!

コミュニティカレッジの修了者でつくるコミカレ・ねっとわーくの設立30周年記念フォーラムが昨年10月に静岡市で開催されました。富士宮やきそば学会の渡辺英彦会長による「やきそばによるまちおこし」をテーマにした、三者麺談、天下分け麺の戦いなどの親父ギャグ連発の

楽しい基調講演の後、東・中・西の各支部の代表者による「三つ巴トーク」では、望月誠一郎先生、沖コミカレ会長に行司役として仲裁していただきながら、各地区の自慢の話を伺いました。第2部の交流会では、フラダンス、ハーモニカ演奏、手持ちの楽器を持ちよっての合奏・合唱が披露されるなど、なごやかで楽しい一日を過ごしました。この明るさと元気で、これからもコミュニティ活動が広がっていくことと確信しました。

編集・発行

静岡県コミュニティづくり推進協議会
 〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
 総合社会福祉会館3階

TEL 054-251-3585

FAX 054-250-8681

URL <http://www.sizcom.jp>

E-mail sizucom0829@po.across.or.jp

※地域情報お寄せ下さい。

